

あなたに届ける議会のホットニュース

議会だより

URESHINO

うれしの

No.48

平成30年1月29日発行

12月議会の
ニュースのとびら



▲晴れやかな笑顔がいっぱいの新成人（嬉野市リバティ）

補正予算審議

ふるさと応援寄附金
で5億円を増額補正

P2
~3

議員発議で おもてなし条例を制定

県内自治体で初の制
定

P4
~5

議案の賛否 どうなった

それぞれの議案に対
する賛否表

P6

議員とかたろう会 の報告

市民の皆様からのご
意見に対する執行部
からの回答

P7

活発な一般質問

13名の議員がいろい
ろな政策を提言

P8
~9

委員会レポート

文教福祉、産業建設
常任委員会による先
進地視察研修報告

P9

アンケート結果報告

議会だよりに対する
アンケート結果報告

P10

中学生の声

市内中学生の「夢や
思い」を掲載

P10

発行＝嬉野市議会 編集＝議会広報編集特別委員会

〒849-1492 佐賀県嬉野市塩田町大字馬場下甲1769 TEL.0954(66)9127 FAX.0954(66)2887

一般会計 総額で 164億6136万円に 前度年比で4.3%の増

平成29年度第4回定例会は、12月1日から12月15日まで15日間の日程で開催された。提出された議案は、条例の制定2件と条例の一部改正5件、指定管理者の指定3件、補正予算10件、建設工事請負契約の締結3件、議会の同意に關わるもの1件の併せて24件の議案、また、12月13日に議員発議3件を提出した。

一般会計補正予算（第4号）は、歳入歳出総額に8億7740万円を追加し、補正後の予算総額を164億6136万円とするもので、当初予算

繰越金を基金に積立 ふるさと応援寄附金や 定住促進奨励金などに

一般会計

8億7740万円を補正

定住促進奨励金などに

比5・5%増、前年同期比4・3%の増となる。そのうち、基金積立金として、前年度決算繰越金の2分の1相当額の2億7千万円を財政調整基金へ積み立てる提案があり、また、特別会計補正予算8件と水道事業会計補正予算1件、全ての議

会計名	補正額	補正後の総額	
一般会計	8億7740万円	164億6136万円	
特別会計	国民健康保険	1179万円	47億3705万円
	後期高齢者医療	96万円	3億3461万円
	農業集落排水	45万円	3億6237万円
	公共下水道事業	1044万円	4億1426万円
	浄化槽	25万円	1億3731万円
	第七土地区画整理事業	4万円	9846万円
	第八土地区画整理事業	0万円	7867万円
	嬉野温泉駅周辺土地区画	67万円	2億2518万円
水道事業	収益的収入	0万円	6億5168万円
	収益的支出	170万円	6億3924万円
	資本的収入	0万円	1億8639万円
	資本的支出	14万円	4億824万円

案を可決した。

また、2件の条例と意見書1件の議員発議があり、嬉野市おもてなし条例については、賛成および反対の立場で討論を行い、賛成多数により可決し、15日閉会した。

（賛否表は6ページ）

今議会では13名の議員が一般質問を行い、執行部に鋭い質問と政策提案を活発に展開した。（8ページから掲載）

Q 基金って何だ

基金とは、地方公共団体が条例の定めるところにより、特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立て、または定額の資金を運用するために設ける財産です。

基金の種類

年度間の財源調整のため余裕財源が生じた時、翌年度以降における財政状況を考慮して積み立てる財政調整基金や、市債など借金の返済のために積み立てる減債基金などがあります。

この他に特定の目的のために財産を維持し、積み立てる学校建設基金や公共施設建設基金等があり、また、一定額の財産を運用する土地開発基金などもあります。

嬉野市定住促進

奨励金額
30万円以上



転入奨励金・持家奨励金を ご用意しました

新婚3年以内の方は
30万円加算！

嬉野市では、定住人口の確保と増加を図るため、市内に定住することを目的として住宅を取得された方に対して、定住奨励金を支給します。

定住促進奨励金 として

1000万円

内容は。

問 当初予算で、転入10件、持家24件3000万円を計上していたが、転入12件、持家6件の追加申請があり1000万円の増額補正となった。

問 この制度が始まった平成20年からの転入の総人数と今年度の人数は。

答 これまで、この制度を利用した人は140件428人で、今年度は22件76人を見込んでいます。

ふるさと応援

寄附金で

5億円

寄附金の現状は。

問 11月末で、14億4500万円程の寄附金があり、現在も増加傾向にある。今年度の総額を2億円見込んでいる。

問 増額の要因は。

答 総務省から返礼品割合の見直しが通達されたが、本市は現状の5割を

維持しているからではないか。

問 寄附金の使途は。

答 予算の財源や、子ども子育て基金の創設を考えている。

みゆき公園の

芝生張り替えに

150万円

問 場所はどこか。

答 みゆき公園内の昭和天皇お手植えの木周辺600m程の芝生が枯れているので、今回張り替え工事を予定している。

問 工事の内容は。

答 芝生の張り替えだけでなく、地中に暗渠排水路を入れて水はけを良くし、土壌改良をして芝の生育環境を整えたい。

街なみ環境整備

事業が

1908万円減額

問 どうしてなのか。

答 この事業は社会資本整備総合交付金を利用したもので、今回示額が減額された。

問 事業の内容はどのような

なのか。

答 伝建地区の道路美装工事区間の縮小や消火栓設置が3基から2基に変更になった。

問 今後はどうするのか。

答 残りの工事は次年度に計画したい。

スポーツ大会・

合宿誘致活動事業で

130万円

問 増額補正の要因は。

答 当初予算で合宿誘致補助金370万円を計上していたが、例年、3月の年度末にかけてスポーツ合宿が多数あり予算が不足する恐れが生じたので、今回補正をお願いした。

問 どのようなスポーツ

答 他にはないのか。現在はない。

合宿が多いのか。

答 主に大学の準公式野球部の合宿が3月末に集中している。

特定建築物

定期報告に

34万円

問 どの建物なのか。

答 3階に大会議室を持つ吉田公民館である。

問 どうしてこのような事態が生じたのか。

答 平成28年6月の建築基準法改正により、人が多く集まる建物（劇場や集会場・公民館・映画館など）の報告義務が県から通知があったが、漏れていた。

その他の主な補正予算

項目	金額
放課後児童健全育成事業	210万円
障がい児施設措置費	1761万円
障がい児保育事業	604万円
施設型給付費	679万円
保育所等整備事業 (岩屋保育園)	692万円
林道災害復旧事業 (木場・上不動線)	150万円
うれしの茶交流館 (広告業務)	85万円
九州・全国大会派遣事業	40万円

議員発議で「おもてなし」条例を制定

県内自治体では初

条例の主旨

国は、海外からの誘客を中心として観光産業を基幹産業に育成している。地方創生の鍵として、地域産業の体験、滞在型の観光DMOを推進している。

観光地において、滞在型やリピーターを確保するためには一番大切なことは人とひとのふれあいに由る感動、つまりおもてなしの心が必要である。人にやさしいまちづくりを推進する嬉野市において、訪れる方だけではなく、ここで暮らす私たちにとっても、おもてなしの心は大切なことであることを確信し条例を提案する。

これまでの取組

- 平成28年8月 議会活性化特別委員会で協議。
- 10月 議員提案で行う

ことを福岡大学法科大学院、山下教授に質問。

- 平成29年1月 他県他市の制定した条例を参考に協議。
- 4月 議論の場を総務企画常任委員会に移す。
- 6月 総務企画常任委員会小委員会で調査研究を進める。
- 7月 滋賀県甲賀市と三重県尾鷲市を視察。
- 8月 条文(案)を執行部と協議。
- 9月 嬉野温泉観光協会及び町並み保存会と意見交換会。
- 10月 有志議員で協議。
- 11月 政策討論会(議員間討議)を開催。
- 11月 パブリックコメントを市のホームページと行政回覧で実施。
- 12月 議案を議会上程し審議。

質問の一部

おもてなしは概念で

あり、主語に「おもてなし」はおかしい。

答 おもてなし条例の基本理念なので、思いを込めて「おもてなし」を主語にした。

問 なぜ、今の時期か。

答 この条例については平成27年春頃から動きがあった。その後、協議を重ね今回提出した。

問 条例でなく宣言でもよくないか。

答 みなさんで、「おもてなし」による「まちづくり」をしていきたいと思いますという意味で理念条例として提案した。



▶報道された新聞

嬉野市おもてなし条例

私たちの住む嬉野市は、奈良時代から古き書に記されているように塩田川のほとりに田園が広がり、また、美肌の湯として名高い温泉が湧き、お茶、焼き物、お酒、農産物など全国に誇る特産物が産出されています。江戸時代には、嬉野は長崎街道の宿場町としてにぎわい、また、塩田は全国各地との交易の場として栄え、たくさんの人、もの及び文化が行き交い、人と人とのふれあいの中で、先人たちにより地域色豊かな文化が育まれてきました。街道筋の温泉地として、また、川港としての商いを通して培われた真心の込められたおもてなしの心は、今も連続と私たちに受け継がれています。

嬉野市を訪れる人に、おもてなしの心をもってまちの様々な魅力を伝え、その魅力にふれていただくために、私たち自身が地域の資源を認識し、かつ、それを活かしながら後世に伝承していく必要があります。

人とまちを思いやる、「ひとにやさしいまちづくり」を進めている私たちは、先人から受け継いだ財産である「おもてなしの心」で、魅力ある嬉野市の価値を更に高め、いつまでも暮らし続けたいと思えるまち、何度でも訪れたいと思われるまちを目指します。

私たちの住む嬉野市を、誇ることで輝けるまちにしていくことが私たちの願いであり、ここにその思いを込めてこの条例を定めます。

(目的)

第1条 この条例は、本市におけるおもてなしの基本理念を定めるとともに、市、議会及び市民等の役割を明らかにすることにより、おもてなしの心を育む地域づくりを協働して推進し、活力に満ちた魅力あるまちづくりの実現に寄与することを目的とします。

(定義)

第2条 この条例において「おもてなし」とは、全ての人に心地よく過ごしていただくために、来訪者を温かく受け入れ、親しみの心を込めて接し、また、思いやりを持って振る舞うことをいいます。

2 この条例において「市民等」とは、市内に在住し、在勤し、又は在学する個人及び市内に事務所又は事業所を有する法人その他の団体をいいます。

(基本理念)

第3条 おもてなしは、市、議会及び市民等が本市の歴史、文化、伝統、自然等に対する理解と関心を深め、郷土愛と誇りを持って推進します。

2 おもてなしは、市、議会及び市民等の協働で推進します。

3 おもてなしの推進に当たっては、市、議会及び市民等は、年齢、性別、国籍、障がいの有無等にかかわらず、全ての人が心地よい感動を得られるよう努めます。

(市の役割)

第4条 市は、前条に定める基本理念(以下「基本理念」という。)に基づいて、おもてなしに関する施策を講じ、これを総合的に実施します。

2 市は、おもてなしの視点から地域の資源を活かし、かつ、各産業との連携を図りながらまちづくりの施策を推進します。

3 市は、市民等によるおもてなしの推進のための自主的な取組の促進を図るため、市民等に対し、相互の連携の推進、情報の提供、啓発活動その他の必要な支援を行います。

(議会の役割)

第5条 議会は、基本理念に基づき、おもてなしの心を育む地域づくりの発展のため、市民等の意思及び来訪者の意見を的確に把握し、施策の積極的な立案及び提言に努めます。

(市民等の役割)

第6条 市民等は、おもてなしのまちづくりの担い手であることを心掛け、来訪者を温かく迎えるとともに、地域、職場、学校等あらゆる場でおもてなしに努めるものとします。

2 市民等は、基本理念に基づき、おもてなしに関する取組に協力するよう努めるものとします。

附 則
この条例は、公布の日から施行します。

白熱した討論

おもてなし条例制定で

嬉野市議会では、読書条例に続き議員発議として、12月7日に議案を議会に提出した。議会中には、議案質疑でたくさんの方の質疑を受け、最終日12月15日に賛成反対の討論を行った。今回、5人の議員が白熱した討論を行い、12対4の賛成多数で可決し条例制定の運びとなった。



反対
山口政人
議員

このような心の問題をなぜ条例化するのか。その必要性は全くない。理念（目標）であるならば、市民憲章に「あたたかい心で訪れる人を迎えましょう」とある。これで十分である。この条例（法律）は憲法の内心の自由に違反する恐れがある。道徳であって、他人から言われて育つものでない。人は多様な価値観を持っている。市民の心をコントロールするような条例は必要ない。しかも議会が上から目線で、自分達の価値観を押し付けるべきでない。自己満足でしかない。



賛成
森田明彦
議員

提案の法的根拠に、地方自治法第112条第1項において、条例の議員提案を認めている。また、行政が提案しない、まちや市民のあるべき姿や理念、宣言型の条例を提案することが可能である。加えて、昨年8月より検討を始められ、法科大学院教授への検証依頼、執行部との協議、条例作成の「ぎょうせい（株）」へ条例案の精査、議員による政策討論会、市民への意見聴取などを重ねられた。人にやさしいまち、また、観光立市を標榜する嬉野ならではの提案であり賛成する。

有志議員名	
提出者	辻 浩一
賛成者	芦塚 典子
賛成者	田中 政司
賛成者	川内 聖二



反対
増田朝子
議員

条例制定に向けての経緯において、総務企画常任委員会では条例そのものから勉強すべきとの意見も出たが、条例制定ありきで進められてきた。また、理念条例ならば、市民憲章にも「あたたかい心で訪れる人を迎えましょう」とあり、あえて条例制定する必要はない。おもてなしの心を育むとあるが、条例を制定しなければおもてなしの心は育めないのか。また、住民が本当に条例制定を望んでいるのか。意見交換会の回数も十分でない。以上の理由でこの条例に反対する。

Q 発議とは
議員が、議会の会議において事件の審議を行うために言語を発すること。発議の種類としては、質疑、質問、討論、提案理由の説明、動議の提出その他議事進行の発議、一身上の答弁等もある。議案の場合は、一般的に提案と言つ。



賛成
生田健児
議員

今議会にて提案された「おもてなし条例」は嬉野市の未来のためになる。言いかえれば我々の子や孫、そして、その先の嬉野市民のためになると考え、賛成する。おもてなしを受けた側が次はする側となり、した側が次は受ける側となる優しさの連鎖となっていく、我々のおもてなしの心は未来の嬉野市民に様々な場面で利益をもたらしてくれることであろう。条例化することにより、故郷を愛する心がより強くなることを期待したい。



賛成
芦塚典子
議員

平成27年春から構想があり、平成28年8月議会活性化特別委員会で議員提案条例として協議が始まり、総務企画常任委員会で調査研究を重ねた。先進地2市を視察し嬉野温泉観光協会等との意見交換を行い、条例専門機関に精査を依頼しパブリックコメントでさらに推敲を重ね、今議会への提出に至る。観光を主産業とする当市にとって、ふるさとの美しい景観や歴史・文化に誇りを持ち、来訪者を温かく迎える施策を推進する条例として、その期待と役割は大きい。

うれしの茶交流館条例を制定

4月開業に向けて



▲4月に開業するうれしの茶交流館

12月定例議会には、嬉野市うれしの茶交流館条例、嬉野市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例制定の2件と、嬉野市営住宅条例、嬉野市営キャンプ場条例等の一部改正5件が提出された。その他に嬉野市議会議員発議による、おもてなし条例が提出され、慎重な審議の結果、全て可決成立した。

嬉野市うれしの茶交流館条例

問 シルバー料金の設定は考えなかったのか。今後検討するののか。

答 現在は考えていないが、今後の利用状況をみて検討したい。

問 入場料を免除される公益上必要な行事とは。

答 社会福祉、文化向上を目指す文化祭やチャリティイベントを考えている。

問 小中学生入場料は市内、市外の区別はあるのか。

答 区別はしていない。

陳情

嬉野地区内広報等掲示板の改修を求める

嬉野市 辻田 正信

塩田川井堰の維持管理・修繕工事等に係る地元負担の軽減を求める

嬉野市 中野 哲太郎

志田 和昭

田口 康範

田中 五百喜

山崎 辰良

田中 均

西田 覚

看護師等養成事業への平成30年度市町補助金を要望する

鹿島藤津地区医師会立看護高等専修学校

校長 下河辺 和人

「協同労働の協同組合法（仮称）」の速やかな制定を求める

福岡市 星平 順子

議員提出議案

12月定例議会において、議員提出議案として、三議案を提出した。

- ・嬉野市おもてなし条例
- ・嬉野市議会委員会条例の一部を改正する条例
- ・道路整備事業に必要な予算確保に関する意見書

陳情・請願の出し方は

みなさんから議会に要望などを伝える方法として、文書による請願や陳情書の提出があります。

請願や陳情書には要旨と理由を簡潔に、わかりやすく書いてください。道路等は簡単な地図（略図）をつけてください。切は定例会開会の6日前までです。

議案の賛否 どう判断

賛 否 表

○は賛成 ●は反対 欠は欠席

議案番号	議案名	結果	表決数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
				生田健児	宮崎良平	川内聖二	増田朝子	森田明彦	辻浩一	山口忠孝	田中平一郎	山下芳郎	山口政人	芦塚典子	大島恒典	梶原睦也	田中政司	織田菊男	西村信夫	山口要
議案第66号	嬉野市うれしの茶交流館条例について	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
議案第67号	嬉野市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例について	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
議案第69号	嬉野市営キャンプ場条例の一部を改正する条例について	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
議案第70号	嬉野市議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例について	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
議案第76号	平成29年度嬉野市一般会計補正予算（第4号）	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
発議第7号	嬉野市おもてなし条例について	可決	12:4	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○

私たちの願いどうなった

議員とかたろう会の要望にお答えします

前号で紹介しました「議員とかたろう会」の内容を追加して報告します。

市民の皆様より要望があった意見を議員間で集約し、執行部に対し、申し入れを行い、その回答の一部を紹介します。

大茶樹周辺の管理を

答 柵は年内に設置できません。

トイレの管理・清掃については皿屋谷地区に委託する予定です。

ため池の管理について受益者の負担軽減を

答 要望内容により受益者の負担も変わってきますので、農林課へご相談ください。また、イノシシの防柵購入の補助を加えました。

市道や林道の除草を含めた管理の徹底を

答 市道は危険箇所を優先に行っていますが、き

め細かい対応ができていません。早めの対応をしたいと思います。

林道は利用頻度の高い路線から行っています。

今後は限られた予算ではありますが、管理を行っていきます。

ハザードマップ等豪雨が想定した見直しが必要ではないか

答 近年の局地集中または短時間豪雨が特に激しさを増し、各地で水害が頻発している。これに対応するため平成27年の水防法の改正に伴い、国及び県では想定し得る最大規模の降雨により河川が氾濫した場合に浸水が想定される地区を洪水浸水想定区域として指定している。嬉野市に関するものは国と県の洪水浸水想定区域指定完了後の平成

30年以降にハザードマップ作製を予定している。

市体育館跡地の堤を防災に活用できないか

答 市体育館跡地の利用は現在、検討中です。

西川内・赤仁田地区に防災ダムを

答 防災ダム建設は、佐賀県の所管であり、杵藤土木事務所へ要望します。

市外からの移住者の受け入れ体制を

答 空き家バンク登録の推進と地域コミュニティでサポートしていきます。

若手のお茶生産者などが頑張っているが、事業推進に向けて意欲促進の施策を

答 今後、官民一体と

なった新しい取組ができる環境づくりに努めます。次世代支援など関係団体と情報を共有し、支援も行っていきます。

医療費や介護保険料が増えていく中で、各種の実態調査を行ってほしい。介護保険事務所にも積極的な意見の要望を

答 高齢者が急増する中で、地域共生社会を実現するために「地域包括ケアシステム」が考えられています。

高齢者の日常生活を地域住民が支えあう仕組みづくりに関係機関と協議し、総合的に事業を進めている段階です。



▲開催された議員とかたろう会

一般質問

※今回は任期最後の議会であり、質問通告のみ掲載します



山下芳郎 議員

①首長としての6期22年を振り返って



森田明彦 議員

- ①市長としての在任を振り返り、感想を問う
- ②民生委員・児童委員問題について
- ③防災問題について
- ④中小企業・小規模企業振興条例について
- ⑤国道今寺一位原交差点間の歩道設置について



芦塚典子 議員

- ①子育て支援について
- ②被り木の整備について
- ③市管理の看板について
- ④マイナンバー制度の活用について



山口忠孝 議員

- ①嬉野デザインウィークイベントについて
- ②塩田川の遊歩道について
- ③小中一貫校の取り組みについて



川内聖二 議員

- ①新幹線開通前の構想について
- ②塩田川の沈み橋の道路から区画道路への取り付けについて
- ③有害鳥獣対策について
- ④市内の桜の樹木について



辻浩一 議員

- ①防災対策について
- ②お茶の生産および販売の今後について
- ③道路・河川の管理について
- ④新幹線活用について



西村信夫 議員

- ①平成29年産米及び大豆情勢について
- ②農業集落排水事業について
- ③火の口交差点と国道498号について



梶原睦也 議員

- ①新幹線「嬉野温泉駅」(仮称)を生かしたまちづくりについて
- ②日本一の福祉のまちづくりについて
- ③雇用環境整備について
- ④居住環境整備について



生田健児 議員

- ①インフラ整備について
- ②起業促進について



田中政司 議員

- ①うれしの茶の振興対策について
- ②県道大村嬉野線の問題について



増田朝子 議員

- ①嬉野医療センター跡地活用について
- ②公共交通について
- ③こどもセンターについて
- ④「市民の声」への対応について



宮崎良平 議員

- ① 自然災害対策について
- ② 住民の安全確保について
- ③ 嬉野市の未来について



山口 要 議員

- ① 嬉野市の市政運営について

民生委員問題を 調査

文教福祉
常任委員会

調査理由

民生委員・児童委員の活動は、地域住民の相談や援助を行うことで社会福祉に寄与しており、重要性は増すばかりである。一方負担の重さが課題となっており、先進地大分市の調査研修を行った。

委員会の意見

従来からある「民生児童委員活動の手引き」は行政用語で書かれてあり

難しい内容である。

そこで、大分市では、

民生委員・児童委員の活動のためのマニュアル本「大分市民生委員児童委員活動の目安と考え方をまとめたQ&A」の冊子を作成した。このQ&Aは、複雑・多様化する住民ニーズにどこまで対応すればよいかという活動指針を乗せたもので、わかりやすく、大変役立つものになっている。

また、民生委員庁舎内サポート体制が強化され



▲大分市役所で調査する文教福祉委員

ており、担当の支援員が対応する「代表窓口」があり、庁内あげて協議・支援・情報の共有を目指し、問題解決が図られている。

ただ、大分市でも民生

委員の欠員がみられるが、今後は、民生委員の活動が誰でもできるような体制や雰囲気作りが必要である。

大分市の取り組みは本市でも取り入れるに値すると考える。

自動運転 サービスに ついての調査

産業建設 常任委員会

調査理由

現在、全国で自動運転サービスの実証試験が行われている。道の駅「芦



▲芦北町で自動運転の説明を受ける産業建設委員

北でこぼん」を拠点とした自動運転サービスを視察し、道路状況や周辺環境において当市での可能性について調査を行った。

委員会の意見

道の駅「芦北でこぼん」を拠点として自動運転サービス実証実験が10月1日行われている。この実験は国土交通省が全国で5カ所の道の駅を指定して行うもので、西日本初の公道での実験であった。自動運転については交通事故の削減、少子高齢化による公共交通の衰退などへの対応、渋滞の緩和、国際競争力の強化

などの官民一体となった開発が続いている。芦北町では、条件の異なる公道を利用して実験が行われていた。広い公道や車両進入が少ない河川敷の走行ルートは比較的行きやすいが、狭い市街地の道路や植栽などが生い茂った場所での走行は課題が多いように感じた。新たな公共交通の担い手として自動走行運転が今後地方にとって重要であり注視していく必要がある。加えて、今後の道路整備のあり方においても自動走行運転を視野に入れた計画が必要である。

読まれる“議会だより”をめざして

議会だよりアンケート結果の報告



中学生の声
 新生徒会長
 になつて
 嬉野中学校2年1組
 橋爪 大成

僕は、この嬉野中学校を「自分達で自分達を高めあえる規則正しい中学校」にしたいと思い、生徒会長になりました。

嬉野中学校の良い所は、あいさつが上手な所だと思います。しかし、改善点もあると思います。それは、そうじの時間に、無駄な私語があったり、2分前に着席して授業の予習、復習が完璧にできていなかったりするところです。

そこで、この2つの課題を克服できるように、次の3つの具体的な活動を行いたいと考えました。

1つ目は、無言そうじの徹底です。無言でそうじをすることによって、より学校をきれいに保てると思ったからです。

2つ目は、授業が始まる2分前の予習・復習の徹底です。予習、復習をすることによって、学力の向上につながると思ったからです。

3つ目は、一日一善運動です。嬉中生が、一つでも多く良いことをすることで思いやりや気配りを意識した生活を送ることができると思ったからです。

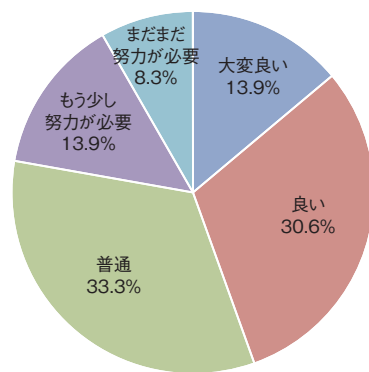
この3つの活動を念頭におき、歴史ある嬉野中学校を今以上に、より良くなるように頑張っていきたいです。

平成29年度「議会だより」に関するアンケート調査について

- 実施期間
平成29年7月28日～平成29年11月30日
- 調査方法
議会だより第46号にアンケート用紙を挟み込み全戸配布し、郵送等により回収した。
- 回収結果
アンケート発送数：8,560件
回答数：36件
回収率：0.42%

(問) 議会だよりの全体的評価をお聞かせください。

項目	回答数
大変良い	5人
良い	11人
普通	12人
もう少し努力が必要	5人
まだまだ努力が必要	3人
無回答	0人
合計	36人



*主な意見を紹介します。

- 成果ばかりでなく、こんなことはできませんでした、というの必要なのでは？ 60代～70代 男性
- パツと目につく文字の工夫が今一つ。高齢者でも読んでみたいと思うように。 60代～70代 女性
- 文字の大きさは良いが、レイアウト、文章が読みづらい。 60代～70代 男性
- 文は大きいほうが読みやすい。横書きにしてほしい。 40代～50代 男性
- レイアウトは昭和のセンスが感じられ古くさい。若者は読みたくならない。 20代～30代 男性
- 読んでみたいと思う、インパクトのある紙面にしてほしい。 40代～50代 女性
- 4年に1回は子供議会(中学生)を行ったらどうでしょうか。 80代以上 男性
- 回答された事項がその後どうなっているか、結果報告も知りたい。 60代～70代 男性
- 国民健康保険税に毎年補正額が出ているが、その要因等を具体的に記載してほしい。 60代～70代 男性
- 報告になっているので意見を求める欄を設けたらどうでしょうか。 60代～70代 男性
- 市民が読みたくなる内容を簡潔に載せてほしい。”議員目線ではなく市民目線” 20代～30代 男性

議会広報編集特別委員会

委員長	山下芳郎
副委員長	山口忠孝
委員	織田菊男
委員	芦塚典子
委員	森田明彦
委員	川内聖二
委員	生田健児

「宿命とは、この世に生まれて来たことと、生きていくということだ」との言葉もある。振り返ってみると、正に宿命に耐え、運命に戯れ、使命に生きて、この30年の議員活動であったような気がする。▼その間、議長時代の4年間を除いて毎行欠かさず一般質問を行った結果、その積み重ねが104回という数字になって表わすことができた▼嬉野市議会も幸いにして「議会だより」コンクールで全国2位、また「議会改革」では全国3位という実績を残している▼今後も嬉野市議会が二元代表制における議会の役割を果たしながら、今以上のレベルアップを目指し議会改革に向けて果敢にチャレンジしていければ、ことを期待して筆をおく。(要)

コラム